

春日雜興 横山峯雲

今春万戸座流觴

紫陌千紅滿袖香

竹院百般隨處好

美酒無數醉余芳

春日雜興 横山峯雲

今春万戸流觴に座し

紫陌の千紅袖に満ちて香る

竹院百般隨處に好く

美酒無數にして余芳に酔う

(詩意)

春の日のいろいろな趣き

今年の春は多くの家で、宴会を楽しんでおり、
都会の街路には、多くの赤い花々が香っている。

我が庵は、すべて至るところが良く、

美味しい酒も限りなく有って、あり余る香りに
酔うほどだ。

(注釈)

- ・春日雜興…春の日のいろいろな趣き。
- ・今春…今年の春。
- ・万戸…多くの家。
- ・座流觴…曲水の宴(詩を作り酒を飲む会)をする。
- ・紫陌…都の道路。都の市街。
- ・千紅…多くのくれない色の花。
- ・滿袖香…花びら(花のそで)が香る。
- ・竹院…庭に竹の植えてある書齋。
- ・百般…いろいろ。すべて。
- ・隨處好…至るところがよい。
- ・美酒…おいしい酒。
- ・無數…数限りなく多くあること。
- ・酔余芳…あり余る芳しい香りに酔う。

(平仄)

七言絶句、平起式、下平七陽の韻、○は平韻
字、●は仄韻字、◎は押韻、韻脚は「觴、好、

芳」。

○ ○ ● ● ○ ○ ◎ (韻)

● ● ○ ○ ● ● ◎ (韻)

● ● ○ ○ ● ●

● ● ○ ○ ◎ (韻)

(ご挨拶)

年が明けて、新春となりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。昨年はウクライナ戦争勃発という大変な年でした。しかしながら、今年はコロナ対策の緩和で、巷間では、旅行や宴会などを楽しんでいるようです。それを漢詩にしてみました。作中の「万、千、百、無」の仕掛けに気付かれたでしょうか。漢詩には、対句など他にもいろいろな工夫が隠されています、それを発見する面白さもあります。誰か漢詩に詳しい中国の方に、平仄を含めて、漢詩としての音読をお願いしたいものです。

